



## カメはどれくらい生きるの

### ふつうは50年くらい

カメは、長生きをするおめでたい動物の代表として、「鶴は千年、亀は万年」といわれ、昔から有名です。でも、本当はそれほど長生きではありません。ふつうは、50年くらいがじゅ命だといわれています。人間のほうが長生きといえそうです。カメの種類によってちがってきますが、ゾウガメなどのような体の大きいカメのほうが、小さいカメより、かなり長生きをするようです。カメと同じ仲間の「は虫類」に入るワニやヘビ、トカゲなどと比べると、カメは長生きのほうです。

### 最高記録は152年飼われていたカメ

今までに知られているいちばん長生きしたカメは、モーリシャスに連れてこられたアルダブラゾウガメで、事故で死ぬまでに152年間も、人間に飼われていました。連れてこられたとき、もうおとなのカメになっていましたし、事故で死ななかったなら、200才くらいまで生きてたろうと考えられています。このほかに、記録が残っている長生きしたカメとしては、アメリカのトウブハコガメの138年、ギリシャガメの116年などがあります。人間のいない一年中暖かい島で、のんびりくらしているカメは、もっと長生きしているかもしれません。残念ながら、人間が調べた記録はありません。（監修・今泉 忠明）

